

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	C T 教科 科目	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考		2016年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他			出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率			
筑 波 大 学 ★教育推進部入試課 1st.(029)853-6007 〒305-8577 茨城県 つくば市天王台1-1 -1 要項：〒300円 テレメールで請求 出願：郵送	人文・文化	＜一般推薦＞ 人文	120	28	全	現役	△	次のいずれか。(1)4.3以上 または本学の個別学力検査 等に合格できる程度以上の 学力を有する者、(2)希望す る主専攻分野（哲学、史学、 考古学・民俗学、言語学） に関連する教科・科目にお いて優れた能力を持つ者、 (3)高校において、国際的な 課題をテーマとする探究的 な学習や、国際交流に関す る活動に取り組み、コミュ ニケーション能力、問題解 決力等の国際的な素養を身 に付けた者で、本学の個別 学力検査等に合格できる程 度以上の学力を有する者 （要項確認）	(1)(2) 2 (3) 1	×	書類審査・小論文・面 接（個別）	11.1 ～ 11.7	11.29 11.30 (2日)	12.12	(注)推薦条件(2)の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件(3) は要項確認。その根拠とし て、本人の作成による活動 報告書を添付すること (注)小論文・面接における 「採点・評価基準」は 要項確認	61	28	2.2			
		比較文化	80	20				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類に同じ、(2)比較文化主 専攻に関わる分野において、 特に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文・(1) 英文、(2)日本文）・面 接（グループディスカ ッション）				35	20	1.8				
		日本語・日本文化	40	10				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類に同じ、(2)旺盛な知的 好奇心や日本語・日本文化 を学ぶにふさわしい明確な 問題意識を持ち、専攻に関 わる分野において特に優れた 能力を持つ者	(1)(2) 1 (3) 1		書類審査・小論文・面 接（個別）				35	11	3.2				
	社会・国際	社会	80	16				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類に同じ、(2)社会科学 （社会学、法学、政治学、 経済学）に関連する分野に ついて、明確な問題意識と 優れた能力を有する者	(1)(2) 1 (3) 1	書類審査・小論文・面 接（個別－口頭試問含 む）	36				16	2.3					
		国際総合	80	20				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類に同じ、(2)国際的に活 躍できる資質を有する者で、 外国語または理数系に優 れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1	書類審査・小論文・面 接（個別－日本語・英 語による）	43				21	2.0					

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考		2016年度入試結果								
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	C T 教 科 科 目		書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率								
筑 波 大 学 (続)	<一般推薦> 教育		35	7	全	現役	△	次のいずれか。(1)4.3以上、 (2)教育または人間のこころ と行動について問題意識を 明確に持ち、それに関連する 自主研究やクラブ活動、 社会活動等において優れた 実績を有する者、(3)人文学 類に同じ	(1)(2) 1 (3) 1	×	書類審査・小論文（出 典は英文）・面接（個 別）	11.1 ～ 11.7	11.29 11.30 (2日)	12.12	(注)推薦条件(2)の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件(3) は要項確認。その根拠とし て、本人の作成による活動 報告書を添付すること	22	8	2.8								
		心理	50	12				(1)(2) 1 (3) 1	書類審査・小論文（出 典は英文）・面接（個 別）		39				12	3.3										
		人間	障害科学	35				15	次のいずれか。(1)(3)は人文学 類に同じ、(2)障害科学につ いての問題意識を明確に持 ち、それに関連する自主研 究やクラブ活動、社会活動 等において優れた実績を有 する者 (注)推薦定員は障害者特別 入試（若干名）との合計		(1)(2) 2 (3) 1				書類審査・小論文（出 典は英文）・面接（個 別）	29	11	2.6								
		生物	80	15				次のいずれか。(1)(3)は人文学 類に同じ、(2)生物や数学 に優れた能力を持ち、かつ 生物の学習や実験に意欲的 で、生物に関連する自主研 究や国際生物学オリンピック （国内予選含む）等で実 績を有する者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（英 語力の評価含む）・面接 （個別）				27	15	1.8									
	生命環境	生物資源	120	33				次のいずれか。(1)(3)は人文学 類に同じ、(2)理・数・英 のうち1教科に特に優れた 能力を持ち、かつ、本学類 に関連するクラブ活動、地 域活動、社会活動等にお いて、実績を有する者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（英 語力の評価含む）・面接 （個別）				61	31	2.0									
		地球	50	10				次のいずれか。(1)は人文学 類に同じ、(2)数・理・地 理のうち、少なくとも1教 科・科目において、優れた 能力を持つ者	2		書類審査・小論文（英 語力の評価含む）・面接 （個別）				13	10	1.3									

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考		2016年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	C T 教 科 科 目		書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）， CT教科科目，新増設， その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率		
筑 波 大 学 (続)	理工	<一般推薦> 数学	40	10	全	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ，(2)数学におい て特に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1	×	書類審査・小論文（数 学）・面接（個別）	11.1 ～ 11.7	11.29 11.30 (2日)	12.12	(注)推薦条件(2)の場合は， それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件(3) は要項確認。その根拠と して，本人の作成による 活動報告書を添付すること (注)小論文・面接におけ る「採点・評価基準」は 要項確認（全学群共通） (注)社会学類の主専攻 分野に関連する問題→社会 経済システム主専攻＝ 社会や経済に関する諸問 題，経営工学主専攻＝経 営上の諸問題や経営計画 における数学的手法，都 市計画主専攻＝地域・都 市・環境に関する諸問題	32	10	3.2		
		物理	60	15				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ，(2)数・理い ずれかにおいて，特に優れた 能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（物 理）・面接（個別） (注)教科書3冊まで持 ち込み可					37	16	2.3		
		化学	50	13				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ，(2)化学におい て，特に優れた能力を持つ 者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（化 学）・面接（個別）					21	13	1.6		
		応用理工	120	16				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ，(2)数または理 の能力が抜群で，かつ，希 望する主専攻分野に対して 旺盛な好奇心を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（数 ・英を中心に評価）・ 面接（個別－自然現象 などについての説明や 議論含む）					17	14	1.2		
		工学システム	130	20				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ，(2)数・理の能 力が卓越しており，論理的 な思考力とその表現力に優 れている者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（数 ・理・英の基礎力に基 づく）・面接（個別）					75	20	3.8		
		社会工	120	20				次のいずれか。(1)文系・理 系を問わず4.3以上，(2)数 ・英に優れた能力を持ち， 希望主専攻分野に関連する 問題について強い関心を持 ち，その分野で一定の成果 を挙げた者(注)	2		書類審査・小論文（現 代社会の課題や動きに 関連する設問）・面接 （個別－英語力も評価 する）					35	20	1.8		
	情報	情報科学 情報メディア創成	80 50	10 8				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ，(2)論理的思考 力と表現力に優れ，豊かな 発想ができる者	(1)(2) 各2 (3) 各1		書類審査・小論文・面 接（個別－数学の口頭 試問含む）					18 22	10 8	1.8 2.8		
		知識情報・図書館	100	20				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ，(2)知識や情報 に対して明確な問題意識を 持ち，それらに関する自主 研究やクラブ活動，社会活 動において優れた実績を有 する者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文・面 接					44	20	2.2		

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考			2016年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略		C T 教 科 目	書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率		
筑 波 大 学 (続)	医	<一般推薦>						次のいずれか。(1)4.3以上、 (2)全教科がバランスよく優れ ている上に、英および理数系 特に数・理（物・化・生のう ち2科目）の能力が抜群で、 医師となる資質が十分と考え られる者、(3)人文学類に同じ	(1)(2) 1～3 (注) (3) 1	×	書類審査・小論文（英 ＜読解力・作文力＞・ 数・理＜物・化・生か ら2科目＞）・面接（個 別）	11.1 ～ 11.7	11.29 11.30 (2日)	12.12	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件③ は要項確認。その根拠とし て、本人の作成による活動 報告書を添付すること (注)小論文・面接における 「採点・評価基準」は要項確認 (注)医学類の推薦人数→ 過去3年間の推薦入試・ 個別学力検査等の入学者 数の合計が2名の場合は2 名以内、3名以上の場合 は3名以内で、該当校に は9月下旬までに通知。 通知がない高校は1名 (注)医学類は4技能外部 英語検定試験でC1（CE FR）相当以上のスコア を有する場合は総合評価 に反映させる（要項確認）	200	37	5.4		
		看護	135	36				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類に同じ、(2)看護に関連 する分野について、明確な 問題意識と優れた能力を有 し、クラブ活動、地域活動、 社会活動等（看護に関する ものである必要はない）に おいて、実績を有する者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（(1) 和文、(2)英文）・面接 （個別）				74	25	3.0			
		医療科学	70	25				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類に同じ、(2)医療科学に 関連する分野について、明 確な問題意識と優れた能力 を有し、特に数・理（物・ 化・生のうち2科目）およ び英の能力に優れている者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（(1) 英文、(2)和文）・面接 （個別）				33	13	2.5			
			37	12				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類に同じ、(2)医療科学に 関連する分野について、明 確な問題意識と優れた能力 を有し、特に数・理（物・ 化・生のうち2科目）およ び英の能力に優れている者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文（(1) 英文、(2)和文）・面接 （個別）									
	体育専門		240	88				1つの運動種目に抜群の技 能を有し、かつ、本学群に おける十分な修学力を備え、 将来健康・体育・スポーツ の分野で活躍が期待できる 者で、次のいずれか。(1)国 際大会等に日本を代表して 選抜された者、(2)全国的な 大会等で16位以内の成績を 修めた者、(3)前記と同等程 度の水準にあると認められ る者	4 (注)		書類審査・実技・小論文（設問と論述・600 字）・面接（個別） (注)実技種目→体操競 技、ダンス、陸上競技、 水泳、ハンドボール、 バレーボール、バスケットボール、サッカー、 ラグビー、硬式野球、 硬式テニス、卓球、バドミントン、柔道、剣 道、弓道				(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料を必ず添付のこと (注)実技・小論文・面接 における「採点・評価基準」は要項確認 (注)推薦人数→同一実技 種目は2名以内（男子種 目と女子種目は別種目扱い）	139	92	1.5		
		芸術専門		100	35				次のいずれか。(1)4.3以上、 (2)志望する主専攻分野（芸術学、美術、構成、デザイン）で優れた資質または能力を持つ者		4 (注)				書類審査・実技（主専攻ごとの実技内容は要項確認）・面接（個別） (注)実技・面接における「採点・評価基準」は要項確認	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料（作品写真等）があれば適宜添付のこと (注)推薦人数→同一実技科目は2名以内	151	35	4.3	

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	C T 教 科 目	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考		2016年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	出 願 期 間			選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率				
筑 波 大 学 (続)	生命環境	<専門・総合学科特別入試> 生物資源	120	若干	農業 工業 商業 水産	現役	×	特になし (注)総合学科は専門に関する 教科・科目25単位以上の 修得者	－	×	書類審査・小論文・面接	11.1 ～ 11.7	11.29 11.30 (2日)	12.12		9	5	1.8			
		<障害者特別入試> 障害科学	35	若干				次の全条件。(1)特別支援学 校の就学基準に該当する障 害を有する者、(2)各科目に おいて成績優秀な者、(3)障 害科学に対する高い学習意 欲を有する者、(4)障害者の 高等教育における学習環境 の改善について、当事者と して協力する意志を有する 者、(5)合格後入学までの事 前指導等に参加できる者、 (6)障害者としての自立に高 い意欲を持ち、自立的な態 度で生活している者	1		1次＝書類審査（課題 レポート含む） 2次＝小論文・面接 （個別）	11.1 ～ 11.7	<1次> － <2次> 11.29	11.14 12.12	(注)課題レポート→読解 力、国語力、障害科学への 意欲等をみる (注)小論文→障害科学に 関する英語による課題を もとに、日本語で論述。 英語の読解力、日本語に よる論述の論旨の明確性、 論理性等を評価する (注)面接→障害科学を主 体的に学ぶ意志、 障害者 としての自立の意欲等の評 価、並びに課題レポートや 提出書類に関する質疑応 答を基に総合的に評価する	6	4	1.5			
	人間																				
	医	<地域枠推薦> 医	135	22	全	1浪	4.3	次の全条件。(1)茨城県内の 高校出身者または保護者が 出願期間の最終日において 茨城県に1年以上居住する 者、(2)将来、茨城県の地域 医療に貢献する熱意と能力 を有する者、(3)全教科がバ ランスよく優れている上に、 英・数・理（物・化・生の うち2科目）の能力が抜群 で、医師となる資質が十分 と考えられる者、(4)茨城県 地域医療医師修学資金貸与 制度に応募する者	－		書類審査・小論文（英 ＜読解力・作文力＞・ 数・理＜物・化・生か ら2科目＞）・面接（個 別）	11.1 ～ 11.7	11.29 11.30 (2日)	12.12	(注)小論文→英・数・理に 関する総合的学力を測定 するとともに、論理的思 考力、表現力を評価する (注)面接→医学を志向す る動機、修学の継続力、 適性、感性、社会的適応 力など総合的な人間性につ いて評価する (注)茨城県地域医療医師 修学資金貸与制度の詳細 は茨城県保健福祉部に照 会すること (注)4技能外部英語検定 試験でC1（CEFR）相当 以上のスコアを有する場 合は総合評価に反映させ る（要項確認）	77	20	3.9			